

2017年1月27日

「どうする!高齢者施設の「誤嚥・窒息」対策—裁判例からみる対応のポイント—」の出版

SOMPOリスクアマネジメント株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:布施 康、以下「SOMPOリスクア」)は、高齢者施設の誤嚥・窒息対策に関する冊子「どうする!高齢者施設の「誤嚥・窒息」対策—裁判例からみる対応のポイント—」(以下「本冊子」)を出版しましたのでお知らせします。

本冊子では、高齢者施設で発生した「誤嚥・窒息」の裁判例を集め、高齢者施設が「誤嚥・窒息」に対し、どのような体制を整えておくべきか、「見守り」「救急車要請」等、判決の中で指摘されたポイントおよび対応例をわかりやすく解説しています。本冊子は、SOMPOリスクアウェブサイト内のウェブページ(<https://www.sjnk-rm.co.jp/medical/>)からご購入いただけます。

## 1. 本冊子の特徴

- (1) 高齢者施設で死亡例の多い事故である「誤嚥・窒息」に焦点を当てた内容になっています。
- (2) 「誤嚥・窒息事故」の近年の裁判例から、「具体的な対応のポイント」を紹介しています。
- (3) 誤嚥アセスメントシート、誤嚥防止ケア表の一例などの「参考資料」を掲載しています。

## 2. 本冊子の概要

- (1) 名 称: 「どうする! 高齢者施設の「誤嚥・窒息」対策—裁判例からみる対応のポイント—」
- (2) 価 格: 600円(税抜、送料別)
- (3) 体 裁: B5判 28ページ
- (4) 編著者: SOMPOリスクアマネジメント株式会社  
リスクマネジメント事業本部 医療リスクマネジメント事業部
- (5) 監修者: 医師・弁護士 小島 崇宏 (大阪A&M法律事務所)



## 3. 本書の構成(目次)

はじめに

### 第1章 誤嚥・窒息事故の現状

1. 裁判例選定基準
2. 15裁判例の事故概要
3. 裁判例からわかる誤嚥・窒息事故の傾向

### 第2章 裁判例から学ぼう! 誤嚥・窒息事故に備えて施設が整備すべきこと

1. 利用者が急変した時に十分に対応できるような体制の整備
2. 誤嚥・窒息を起こす危険性のある食物を利用者に提供する時の対応
3. 利用者が誤嚥・窒息を起こす危険性の予測

4. 誤嚥を起こしやすい利用者への食事介助方法
5. 食事を見守る体制
6. 誤嚥・窒息を起こした時の対応
7. 救命処置
8. 救急車を要請する時の判断

付録 事故後の謝罪について

#### 参考資料

- ・ 誤嚥アセスメントシートの一例
- ・ 誤嚥防止ケア表の一例
- ・ デイルーム内での職員配置図の一例
- ・ 救急車要請時の対応マニュアルの一例
- ・ 事故発生時対応マニュアルの一例〈施設編基本〉
- ・ 厚生労働省 福祉サービスにおける危機管理に関する検討会  
食事に関する介護マニュアルの一例

#### SOMPO リスクアマネジメントについて

SOMPO リスクアマネジメント株式会社は、SOMPOホールディングスグループのグループ会社です。「健康指導・相談事業」「メンタルヘルスケア事業」「リスクマネジメント事業」を展開し、特定保健指導・健康相談、メンタルヘルス対策、健康経営、全社的リスクマネジメント（ERM）、事業継続（BCM・BCP）などのソリューション・サービスを提供しています。

#### 本件に関するお問い合わせ先

SOMPO リスクアマネジメント株式会社 リスクマネジメント事業本部  
医療リスクマネジメント事業部 [担当：泉、金森]  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル  
TEL：03-3349-3501（直通）

#### 報道機関の方からのお問い合わせ先

SOMPO リスクアマネジメント株式会社  
経営企画部 [担当：田所]  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル  
TEL：03-3349-5468（直通）

以上